

2022年7月1日

各位

すくすくビーンズのクラウドファンディングを応援！

～むくな豆の栽培をし、必要な方に手の届きやすい価格で届けたい～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、創業 140 周年記念事業「クラウドファンディングを活用した創業・地域活性化事業」の第 68 号プロジェクトが開始されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回のプロジェクトは、すくすくビーンズ様（愛媛県松山市、代表 笹田 弘恵様）が、パーキンソン病に効果があると言われる「L-ドーパ」を含有するむくな豆を栽培し、手の届きやすい価格で販売することを目指すプロジェクトです。

なお、今回の目標金額である 70 万円を達成した場合には、当行の創業 140 周年記念事業の一環で、成約手数料の 1/2 相当額（上限 25 万円）を補助いたします。

記

○プロジェクト概要

項目	内容
団体名	すくすくビーンズ
プロジェクト名	むくな豆の栽培をし、必要な方に手の届きやすい価格で届けたい
募集期間	2022年7月1日（金）～2022年8月28日（日）
目標金額	700,000円
プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・一説では、<u>むくな豆に含まれる「L-ドーパ」はパーキンソン病に効果がある*</u>と言われており、本プロジェクトは、愛媛県の耕作放棄地を活用してむくな豆の栽培を開始するものです。・むくな豆はパーキンソン病に効能があるという説もありながら、高価で希少性が高いことが課題であり、本プロジェクトでは、むくな豆をお手頃な価格で全国の方にお届けすることを目指します。・リターンには、パーキンソン病研究の第一人者である「野元正弘氏（済生会今治病院）」の講演動画や、この取組みに参加される地場企業の取扱商品を用意しており、<u>3,000円から支援が可能</u>です。
取扱者	READYFOR株式会社
申込方法	クラウドファンディングサービス「READYFOR」よりお申込み プロジェクト URL： https://readyfor.jp/projects/sukusuku_beans

※出典：藤井義春(2008)：未利用植物の有効利用と調理科学への期待 日本調理学会誌；41, 3, 38-4

郡山貴子, 飯島久美子 (2020) , 他：ムクナ豆を用いた調理品の L-DOPA1 の消長に及ぼす重曹添加の影響 日本家政学会誌；71, 6, 392-400

飯島久美子 (2018)：ムクナ豆の調理品 日本調理学会誌；51, 1, 61-64

○事業者概要

項目	内容
団体名	すくすくビーンズ
所在地	松山市北条 20-127
特徴等	<ul style="list-style-type: none">・代表者の姉は 4 年前から「パーキンソン病」を患っており、主治医かつパーキンソン病の第一人者である脳神経内科の野元正弘医師が、当団体のアドバイザーを務めています。・当団体の理事は、愛媛県内の地場企業が努めており、地域一体となってパーキンソン病に立ち向かう組織です。

以上

【本件に関するお問い合わせ】伊予銀行地域創生部（担当:高村） TEL（089）907-1074（内線 3452）